

# 令和5年度第1回総合教育会議議題概要書

地域創造部 心のふるさと館

内 容	□協議・調整事項	■報告事項
基本計画	政 策 ( 01 )	地域と行政の共働による魅力輝くまちづくり
	大施策 ( 04 )	心のふるさと館を核としたふるさと意識の醸成
	小施策 ( 01 )	心のふるさと館の活用
議題名	大野城心のふるさと館学校連携事業について	
議 題 概 要	<p>平成30年度から心のふるさと館において実施している「学校連携事業」は、教育委員会、各学校と当課が協議の上、市内小中学校の授業カリキュラムの中で、心のふるさと館での学習活動を盛り込んだ事業となっている。本事業の令和4年度の小中学校の参加状況、令和5年度の小中学校の参加予定及びアンケート調査結果を踏まえた今後の取組について報告するもの。</p>	
提 案 理 由	<p>令和4年度に実施した「学校連携事業」に対するアンケート結果を踏まえた、さらなる事業の利用促進のための対策について、委員から意見を聴取するため。</p>	
論 点 整 理	<p>●報告のポイントなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和4年度実績報告</li> <li>②令和5年度実施概要</li> <li>③アンケート調査結果を踏まえた今後の課題と対策について</li> </ul>	
その他		



## 大野城心のふるさと館

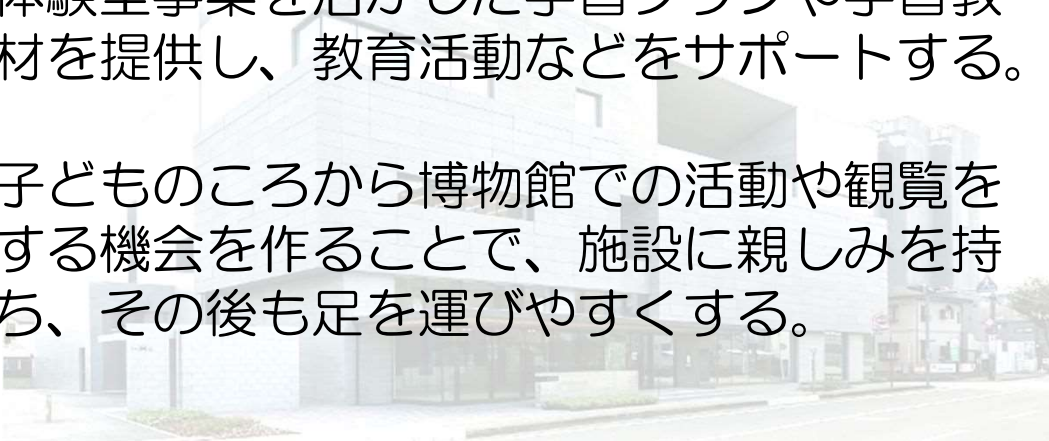
Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

# 学校連携事業について



## 事業の趣旨

- ◆心のふるさと館の展示・収蔵品などの資源、体験型事業を活かした学習プランや学習教材を提供し、教育活動などをサポートする。
- ◆子どものころから博物館での活動や観覧をする機会を作ること、施設に親しみを持ち、その後も足を運びやすくする。



# 事業概要

1. 対象者 小中学校（小学3年生以上）

2. 対象教科 総合的な学習や社会科

※対象者は市内・市外を問わない。

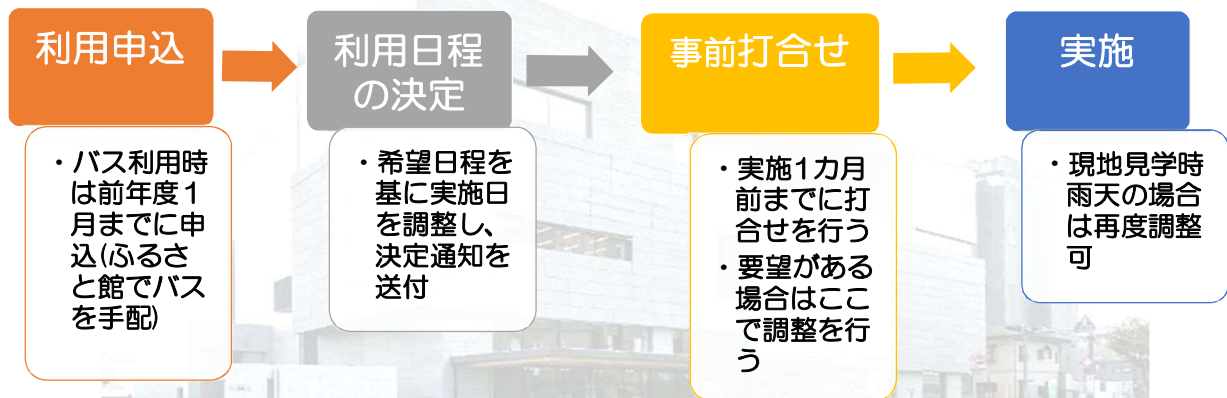
※学校のニーズに合わせて、学習プランを作成し、ワークシートなどの学習教材を活用し、実施する。

※利用単元の学習プラン及び学習教材はホームページで閲覧・ダウンロードができる。

# 利用単元

	単元名	学年	科目	館内学習
<b>小学校</b>				
1	私たちの大野城市	3学年	社会科	3時間
2	昔の道具	3学年	社会科	3時間
3	大野城市の発展につくした人	4学年	社会科	3時間
4	大昔のくらしと国の統一	6学年	社会科	3時間
5	山城のすばらしさをPRしよう	5・6学年	総合的な学習の時間	3時間
<b>中学校</b>				
1	日本史～近代～		社会科（歴史）	2時間
2	地方自治に関する発展的学習		社会科（公民）	2時間
3	地域の歴史を探る		総合的な学習の時間	

## 事業実施の流れ



## 事業実施例 昔の道具(第3学年)

### 1 学習のねらい

- 昔の道具やそれらを使っていた頃の暮らしの様子について調査や見学をしたり、年表などにまとめたりして人々の生活の変化や生活における人々の知恵や工夫を考えさせる。
- 昔の道具を観察したり、道具の使い方を調べたりして当時の暮らしの様子を考えさせる。

## 事業実施の様子



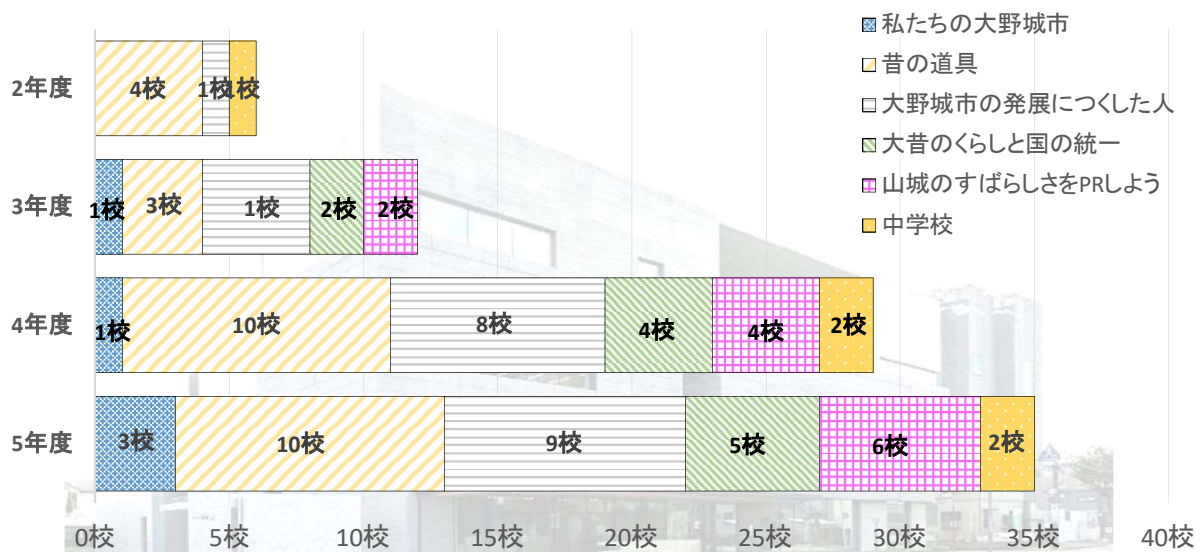
## 事業実施の様子



## 事業実施の様子



## 事業実績(直近3年)と令和5年度事業予定



## 令和3年度までの課題と取組み

### 課題

利用単元の作成から4年が経過し、単元の内容を見直す必要がある。

### 令和4年度に実施した取組み

対象となる市内小中学校担当教諭にアンケート調査と事業利用教諭への聞き取りを実施し、学校のニーズ調査を行った。

## 学校連携事業に関するアンケート結果

実施期間: 令和4年11月1日 ~ 11月11日

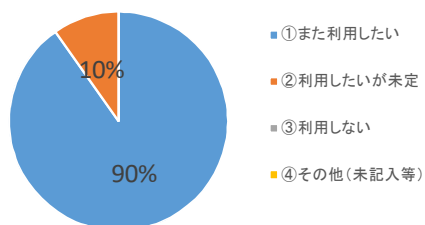
回答者数: 139名(小学校80名、中学校59名)

対象者: 市内小中学校担当教諭(小学校: 第3学年~第6学年)  
(中学校: 第1学年~第3学年)

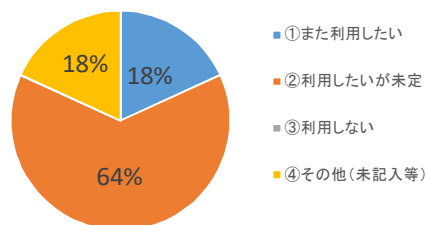
	学校連携事業を知っていますか？		学校連携事業を利用したことがありますか？	
小学校	知っている	70人(87.5%)	利用したことがある	51人(72.9%)
			利用したことがない	19人(27.1%)
	知らない	10人(12.5%)	—	—
中学校	知っている	20人(33.9%)	利用したことがある	11人(55.0%)
			利用したことがない	9人(45.0%)
	知らない	39人(66.1%)	—	—

## 学校連携事業に関するアンケート結果

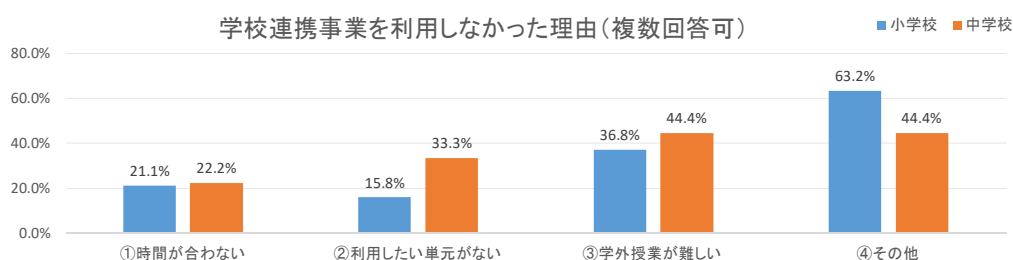
学校連携事業を利用した感想  
(小学校)



学校連携事業を利用した感想  
(中学校)



学校連携事業を利用しなかった理由(複数回答可)



## 今後の課題と対策

### 【課題】

- ◆学校連携事業のさらなる利用の促進。

### 【対策】

- ◆担当教諭によって単元内で重点を置く箇所が違うことから、単元の修正・変更等は行わず既存単元を基に教員との事前打ち合わせにより、学校のニーズに合わせ、講座の内容をその都度調整を行う。
- ◆学校連携事業について、知らない先生も多かったことから、認知度を高めるため、チラシ配布などを行い、各学校への周知を図る。
- ◆単元の内容についても、分かりやすく紹介を行う。